



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内 最新号がダウンロードできます。」

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2018年11月上旬配本 定価5940円(本体5500円+税) 田上 孝一、本郷 朝香 編 原子論の可能性 近現代哲学における古代的思惟の反響 ISBN978-4-588-15096-8 C3010 原子論とは、世界がそれ以上分割できない最小単位、原子(アトム)から構成されているとする説である。古代ギリシアのデモクリトスらに始まり、エピクロスやルクレティウスが提唱したこの世界観は、ガッサンディからヒューム、ライプニッツ、マルクスなどによる哲学的改訂を経て、現代科学にまで息づいている。明治日本における受容史や現代物理学の視点をも展望する、本邦初、全11章の包括的論集。 ☆関連書: 酒井潔ほか編『ライプニッツ読本』、マルコヴィッツ『エピクロスの園のマルクス』(小局刊)。	A5判上製・356頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2018年11月中旬配本 定価5400円(本体5000円+税) 大熊 昭信 著 存在感をめぐる冒険 批判理論の思想史ノート ISBN978-4-588-46015-9 C0090 存在感とは、〈今ここに私が生きている〉という、否定することも手放すこともできない実感である。この一見あたりまえで常識的な経験は、どのようなメカニズムで生成し、複雑で重層的な人生の意味と美をなしているのか。現象学、記号学、民俗学、脳科学、国家論、精神分析、生政治論など現代思想の主題を縦横無尽に論じ、「生きること自体」の愉悅のありかを探索する批評の冒険。 ☆関連書: ゴールドスミス『エコロジーの道』大熊昭信訳(小局刊)、磯前順一『関の思考』(小局刊)ほか。	四六判上製・510頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2018年12月7日配本 定価4320円(本体4000円+税) テオドル・W・アドルノ 著 / 岡田 暁生、藤井 俊之 訳 アドルノ音楽論集 幻想曲風に ISBN978-4-588-01088-0 C1310 ★★ 20代から晩年に及ぶ著作を取めた自伝的論集——ここにいるのは、時にブリリアントな才知をきらめかせ、時に作曲家を目の前にしているかのように慟哭する、一人の人間である。それは「頑固な教条主義者」という従来のアドルノ像を心地よく打ち砕く。新しい時代の音楽に謙虚なまなざしをそそぐ哲学者の生の声を、躍動感あふれる日本語で読む。日本を代表する音楽学者と次代を担う思想史学者が贈る新鮮な翻訳! ☆関連書: アドルノ『模範像なしに』(竹峰義和訳、みすず書房)、『アルバン・ベルク』(平野嘉彦訳、小局刊)。	四六判上製・470頁 《叢書・ユニベルシタス 1088》
-------	----	---	---------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2018年12月上旬配本 定価5184円(本体4800円+税) ウィル・キムリッカ 著 / 稲田 恭明、施 光恒 訳 多文化主義のゆくえ 国際化をめぐる苦闘 ISBN978-4-588-60356-3 C3331 ★★ リベラル多文化主義の理論家として世界的に著名な政治哲学者が、国際法や国際政治学の知見を活用しつつ、多文化主義の普及をめざす1990年代以降の国際社会の取り組みの軌跡をたどり、さまざまな困難の原因究明に挑む。移民受け入れに対する反発が噴出する今日、多文化主義の未来はいかにあるべきだろうか。少数民族や先住民族の権利保障のあり方にも大きな示唆をもたらす必読の書。 ☆関連書: ウィル・キムリッカ『土着語の政治』(小局刊)、『新版 現代政治理論』(日本経済評論社)など。	A5判上製・432頁 《サビエンティア 56》
-------	----	--	----------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2018年12月下旬配本 定価3672円(本体3400円+税) ヨーゼフ・フォークル 著 / 羽田 功 訳 資本の亡霊 ISBN978-4-588-01089-7 C1310 ★★ 「資本の亡霊」が権力を表象する符牒として現れる。不透明感と閉塞感に包まれている現在の世界、不安定性と不確実性に悩むこの世界の現在と未来を総合的に考える。ドゥルーズの独語訳者でもある著者が、経済・金融、政治学の議論にとどまらず、現代小説のドン・デリーロから現代思想のドゥルーズ+ガタリまでを引きながら、私たちが積み上げてきた知的営為そのものを問い直し、未来への展望を示す。 ☆関連書: ドゥルーズ+ガタリ『アンチ・オイディプス』、『千のプラトー』(以上、河出文庫)。	四六判上製・320頁 《叢書・ユニベルシタス 1089》
-------	----	---	---------------------------------

	部数	法政大学出版局 2018年11月重版出来 定価5400円(本体5000円+税) ゴットフリート・ベーム 著 / 塩川 千夏、村井 則夫 訳 図像の哲学 いかにかイメージは意味をつくるか ISBN978-4-588-01066-8 C3310 ★ ガダマーの薫陶を受け、ブレーデカンブと並ぶイコロジーの第一人者による最新の成果。20世紀のデジタル革命でますます重要性を増す図像の持つ意味とは、ハイデガーのスナップ写真から話を始め、先史時代の洞窟壁画、星雲の写真、中世の地図や宗教画からウォーホルなどあらゆるジャンル100点以上の図像をもとに哲学的に考察する。ユニベルシタス初のオールカラー。 ☆関連書: ブレーデカンブ『フィレンツェのサッカー』、ディディ=ユベルマン『イメージの前で』(小局刊)。	四六判上製・320頁 《叢書・ユニベルシタス 1066》
--	----	---	---------------------------------

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。